

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2026年度（2027年3月期）第1四半期

1. 決算概要

- 1-1. 2026年度決算 第1四半期決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2026年度業績予想

- 2-1. 2026年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

1. 決算概要

1-1. 2026年度 第1四半期 決算

単位：百万円

	2026年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	152,401	132,070	+20,331	115.4%
海外売上高比率	31.3%	26.1%	—	—
営業利益	6,426	3,763	+2,662	170.7%
売上高営業利益率	4.2%	2.8%	—	—
経常利益	5,176	3,106	+2,070	166.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,439	16,639	△13,199	20.7%

1-2. セグメント別実績

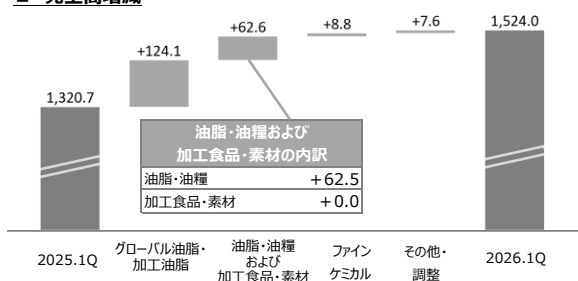
単位：百万円

	2026年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	152,401	132,070	+20,331	115.4%
グローバル油脂・加工油脂	40,085	27,669	+12,416	144.9%
油脂・油糧および 加工食品・素材	104,759	98,497	+6,262	106.4%
油脂・油糧	85,395	79,138	+6,256	107.9%
加工食品・素材	19,363	19,358	+5	100.0%
ファインケミカル	4,620	3,735	+884	123.7%
その他・調整	2,935	2,167	+767	135.4%
営業利益	6,426	3,763	+2,662	170.7%
グローバル油脂・加工油脂	2,535	496	+2,038	510.2%
油脂・油糧および 加工食品・素材	3,300	2,955	+345	111.7%
油脂・油糧	2,476	1,706	+769	145.1%
加工食品・素材	823	1,248	△424	66.0%
ファインケミカル	561	407	+154	138.1%
その他・調整	28	△95	+124	—

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

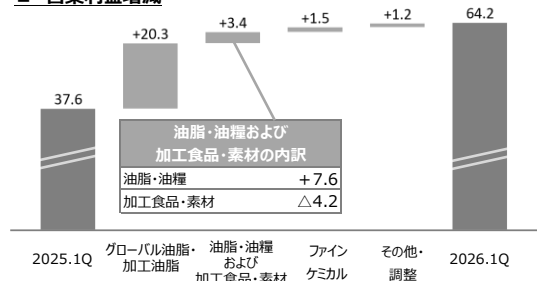
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・販売数量増加（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・油脂、ミールの販売単価上昇（↑）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
- （加工食品・素材）
 - ・国内チョコレートの販売単価上昇（↑）
 - ・海外チョコレートの販売単価低下（↓）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・粗利単価向上（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価損益による影響（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・価格改定による販売単価上昇（↑）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
- （加工食品・素材）
 - ・油脂コスト上昇および物流費等の販管費増加（↓）
- ファインケミカル
 - ・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下（↓）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

1-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ISFグループ	48,148	+15,765	+2,110	・販売数量増加に加え、為替換算の影響もあり増収 ・粗利単価向上に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期+10.5億円、前期△6.5億円）の影響により増益
欧州	16,701	+7,023		
アジア	27,935	+8,650		
その他地域	3,511	+91		
他子会社・連結調整	△8,062	△3,349	△72	
グローバル油脂・加工油脂 計	40,085	+12,416	+2,038	

補足：ISFグループの販売数量増減率
（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
ISFグループ	+28%
欧州	+45%
アジア	+25%
その他地域	△18%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
16,770	+26%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△6.5	チョコレート用油脂（+3.0）、その他（△9.5）
販売単価要因	△5.5	チョコレート用油脂（+3.5）、その他（△9.0）
コスト要因	+13.5	
原料代	+6.5	
製造費 他	+7.0	
販管費・その他	+2.5	
パーム油取引時価評価	+17.0	当期+10.5、前期△6.5
合計	+21.0	

油脂・油種および加工食品・素材の「油脂・油種」

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
油脂・加工油脂	55,482	+4,810	+789	・油脂、ミールの販売単価上昇および油脂の販売数量増加により増収 ・油脂コスト上昇も、油脂の販売単価上昇および販売数量増加により増益
業務用・加工用	34,215	+3,309		
ホームユース	16,898	+956		
加工油脂	4,369	+544		
ミール	21,022	+1,268		
子会社・連結調整	8,891	+177	△20	
油脂・油種 計	85,395	+6,256	+769	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前年同期比）	
業務用・加工用	+5%
ホームユース	+6%
加工油脂	+6%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
18,438

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	+6.0	
販売数量要因	+4.0	業務用・加工用（+2.0）、ホームユース（+2.0）
販売単価要因	+20.5	業務用・加工用（+20.0）、ホームユース（+0.5）
コスト要因	△16.0	
大豆	△11.5	C&F（△14.0）、為替（△8.0）、ミール販売（+10.5）
菜種	△11.5	C&F（△12.0）、為替（△3.5）、ミール販売（+4.0）
その他商品・製造費	+7.0	オリブオイルの原価低下、歩留改善等
販管費・その他	△2.5	
加工油脂	+2.0	
合計	+8.0	

油脂・油種および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	11,984	△334	△618	・国内の販売単価は上昇も、海外の販売単価低下により減収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	2,010	△76	△4	・MCTの販売単価上昇も、販売数量減少により営業利益は前年同期並み
MCT	1,577	+24		
調味料、大豆素材・食品	6,811	+798	+223	・食品大豆の販売数量増加により増収 ・ドレッシングの販売単価上昇により増益
連結調整	△1,442	△382	△25	
加工食品・素材 計	19,363	+5	△424	

1-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	5,369	+862	+168	・国内での化粧品原料の販売数量増加により増収増益
連結調整	△748	+22	△13	
ファインケミカル 計	4,620	+884	+154	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
3,861	+868

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2025年度第1四半期	144.59	163.81	33.56	19.99	0.0088
2026年度第1四半期	159.57	185.41	39.91	23.44	0.0091

2. 2026年度業績予想

2-1. 2026年度業績予想

単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2026年度5月開示
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%	590,000
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%	19,000
経常利益	18,000	16,030	+1,969	112.3%	18,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,000	23,988	△11,988	50.0%	12,000

2-2. セグメント別予想

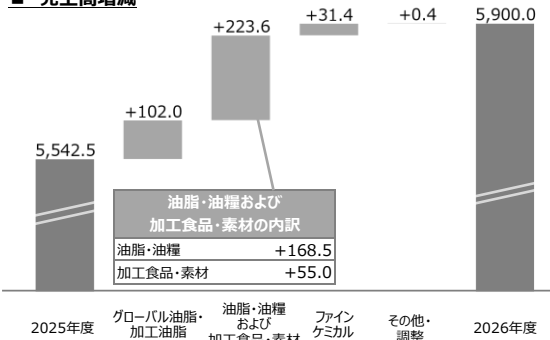
単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2026年度5月開示
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%	590,000
グローバル油脂・加工油脂	149,050	138,848	+10,201	107.3%	149,050
油脂・油糧および 加工食品・素材	411,950	389,586	+22,363	105.7%	411,950
油脂・油糧	328,400	311,544	+16,855	105.4%	328,400
加工食品・素材	83,550	78,042	+5,507	107.1%	83,550
ファインケミカル	18,650	15,509	+3,140	120.2%	18,650
その他・調整	10,350	10,307	+42	100.4%	10,350
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%	19,000
グローバル油脂・加工油脂	6,900	4,766	+2,133	144.8%	6,900
油脂・油糧および 加工食品・素材	10,600	11,124	△524	95.3%	10,600
油脂・油糧	7,600	6,706	+893	113.3%	7,600
加工食品・素材	3,000	4,418	△1,418	67.9%	3,000
ファインケミカル	1,850	1,559	+290	118.7%	1,850
その他・調整	△350	△422	+72	—	△350

2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

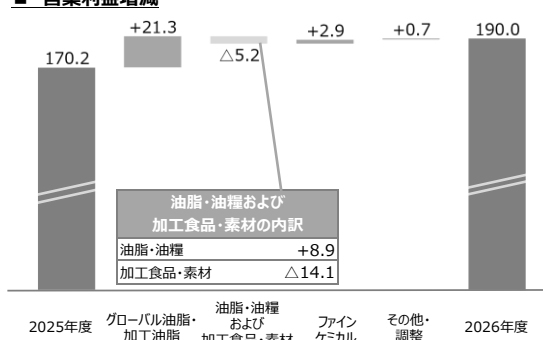
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
 - ・販売単価上昇（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
 - ・油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇（↑）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売数量増加（↑）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価による影響（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・価格改定による販売単価上昇（↑）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
 - ・油脂コスト上昇および物流費等の販管費増加（↓）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下（↓）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

2-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ISFグループ	179,281	+14,338	+2,268	・販売単価上昇およびチョコレート用油脂の販売数量増加に加え、為替換算の影響もあり増収 ・チョコレート用油脂の販売数量増加に加え、パーム油取引の時価評価（当期0.0億円、前期△11.5億円）の影響により増益
欧州	64,225	+9,679		
アジア	102,422	+8,426		
その他地域	12,633	△3,765		
他子会社・連結調整	△30,231	△4,136	△134	
グローバル油脂・加工油脂 計	149,050	+10,201	+2,133	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	△5%
欧州	+2%
アジア	△6%
その他地域	△22%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
70,312	+8%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+4.5	チョコレート用油脂（+6.0）、その他（△1.5）
販売単価要因	+11.0	チョコレート用油脂（△21.5）、その他（+32.5）
コスト要因	△11.0	
原料代	+3.0	
製造費 他	△14.0	
販管費・その他	+5.0	
パーム油取引時価評価	+11.5	当期0.0、前期△11.5
合計	+21.0	

油脂・油糧および加工食品・素材の「油脂・油糧」

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
油脂・加工油脂	232,478	+27,436	+1,668	・油脂の販売数量増加に加え、油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇により増収 ・油脂コスト上昇も、油脂の販売単価上昇および販売数量増加により増益
業務用・加工用	144,988	+20,160		
ホームユース	69,729	+5,649		
加工油脂	17,760	+1,625		
ミール	83,448	+8,127		
子会社・連結調整	12,473	△18,708	△774	
油脂・油糧 計	328,400	+16,855	+893	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	+3%
ホームユース	+0%
加工油脂	+1%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
76,382

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	+17.0	
販売数量要因	+10.5	業務用・加工用（+6.0）、ホームユース（+4.5）
販売単価要因	+214.0	業務用・加工用（+167.0）、ホームユース（+47.0）
コスト要因	△187.0	
大豆	△81.5	C&F（△99.0）、為替（△55.5）、ミール販売（+73.0）
菜種	△62.0	C&F（△52.0）、為替（△41.0）、ミール販売（+31.0）
その他商品・製造費	△43.5	製造費上昇等
販管費・その他	△20.5	
加工油脂	△0.5	
合計	+16.5	

油脂・油糧および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	53,873	+3,465	△1,801	・販売数量増加により増収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	8,212	+178	+196	・MCTの販売数量増加および販売単価上昇に加え、販管費の低減により増収増益
MCT	6,455	+334		
調味料、大豆素材・食品	24,504	+374	+263	・ドレッシングの販売単価上昇により増収増益
連結調整	△3,040	+1,489	△76	
加工食品・素材 計	83,550	+5,507	△1,418	

2-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	21,144	+2,211	+292	・主に国内における化粧品原料の販売数量増加により増収増益
連結調整	△2,494	+928	△2	
ファインケミカル 計	18,650	+3,140	+290	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
15,282	+2,742

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2025年度	150.67	174.64	36.26	21.22	0.0091
2026年度	160.11	185.40	39.90	23.54	0.0091

3. 主な指標

3-1. 経営目標

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
売上高	百万円	530,878	554,251	590,000
営業利益	百万円	19,278	17,027	19,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	12,850	23,988	12,000
ROE	%	7.0%	12.1%	5.7%
ROIC	%	4.6%	4.5%	4.2%

3-2. BS項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
総資産	百万円	388,242	451,185	447,500
運転資本	百万円	149,307	167,291	177,500
自己資本	百万円	187,146	210,222	210,500
有利子負債	百万円	90,762	118,282	125,500
投下資本	百万円	277,908	328,504	336,000
自己資本比率	%	48.2%	46.6%	47.0%
ネットD/Eレシオ	倍	0.39	0.47	0.52

3-3. CF項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	21,166	10,460	22,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 9,590	△ 9,832	△ 32,000
財務キャッシュフロー	百万円	△ 13,885	8,231	3,500

■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ オイルバリュー推移



■ 為替相場 (円/ドル)



■ パーム原油相場



■ カカオ相場

